

仲間への“思いやりのこころ”



グッドフェロー賞

「Good fellow」＝「良い仲間」(直訳)＝スポーツマンシップ



T.Y. <ん

～受講クラス: 月B～

T君がJr. Cクラスにいたとき、レッスン前のボールの準備などを率先してやってくれたので、コーチたちはとても助かっていました。

レッスンの中で、ゲームをやっていたときも

「ゲームのボールがなくなりそうだったから拾ってきたよ♪」

そう言って、T君が拾ってきてくれたボールをかごの中に補充してくれました。

また、ある女の子が体験に来てくれたときです。

「最後にゲームをやってみよう！」

ということになりました。

「今日、体験に来た〇〇ちゃん、ゲームも初めてだよね！」

女の子にそう尋ねると、その女の子がうなづきました。

すると、T君が

「コーチ、僕、〇〇ちゃんと組んでもいい!?」

と言ってくれました。



▲T君



H.I. <ん

K.K. <ん

K.K. さん

～受講クラス: 土C～

H君、K君、Kさんの3人の土曜日Jr. Cクラスに、ある男の子が振替で来ました。

その男の子は、「サーブからのゲーム」が初めてでした。そこで、サーブ練習を行った後、ゲームを行うことにしました。

さて、その男の子のサーブの番がきました。すると…

「がんばれ～♪」

パートナーのKさんが、応援してくれました。H君とK君も「頑張れ～♪」と応援してくれました。Kさんは、その男の子にサーブの打ち方のアドバイスもしていました。

この状況に、男の子のお母さんがとても喜んでくれて、後日クラブへ連絡を下さり、この時の3人の子ども達にありがとうと伝えてほしいということでした。



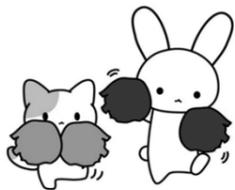
Kさん(現在日B)



H君



K君



S.N. <ん & K.I. <ん

～Jr. チーム生: S.N.くん(中1)、K.I.くん(小4)～

Jr. チーム(選手育成コース)の活動目的は、「テニスを通じた人間形成」です。

テニスで強くなることで「何を身につけるのか」を大切にしています。

S. N <ん(中1)

今年の2月頃、そのとき小6だったS君は、ひざとかかを痛めて、練習では小学生低学年の子たちの相手をしていました。

ある土曜日の朝7時、彼はクラブへ来ました。

「テニスはできませんが、出来ることをしに来ました。」

毎週土日は、朝7時からチーム生同士のシングルの試合を行っています。試合の為にウォーミングアップを他のチーム生が行っている中、S君はコート内の清掃、シングルスポールとスコアボードの準備などを自主的に行ってくれました。

また、試合が始まると、下級生たちの試合が行われているコートへ行き、メモしながら試合を見ていました。そして、その子たちの試合が終わると、そのメモを見せながらアドバイスをしていました。下級生たちも、とっても嬉しそうでした。



S君(前列左から2番目)と、K君(前列一番右)

K. I <ん(小4)

ある時、K君は、学校の運動中に足のケガをしてしまいました。しばらくの間、運動はできません。もちろん、テニスもできません。ところが土曜日の朝、K君は朝7時にクラブへ来ました。

「テニスはできませんが、他にできることをしにきました。」

K君はそう言うと、倉庫から竹ぼうきを出してきて、外コートに落ちている葉っぱを掃除し始めました。また、他のチーム生が試合を行うときに必要な「スコアボード」と「シングルスポール」の準備もしてくれました。

試合前、チーム生全員を集め「K君がここへ何をしに来たのか」というお話をしました。

「得た強さ」を「何に使うのか」

その後、試合が始まるとK君は、上級生の試合を見学しながら、自分のテニスノートに何か書いていました。

お迎えに来たお母さんが、コーチに教えてくれました。

「前にS君(小6)がケガをしたときに、掃除したり、試合の準備をしたりという話をK君から聞いていました。その時に、S君がK君の試合を見てくれて、アドバイスをくれたことをとっても喜んでいました。」

S君のグッドフェローが、後輩のK君へと引き継がれた、とっても素晴らしい出来事だと思いました。